



# 気軽に相談できる体制と健康リテラシーの向上施策で不調を未然に防ぐ健康推進部

2013年設立、住宅設備メーカー LIXILのショールーム施設などの運営・管理を手掛ける株式会社LIXIL Advanced Showroom。健康経営を推進する中で2023年4月、「健康推進室」(現・健康推進部)を設置。常駐の産業保健師による健康相談や、健康リテラシー向上につながるセミナーなど、一歩進んだ健康施策に取り組んでいる。

取材・文／石田 ゆう子

## PROFILE



株式会社LIXIL  
Advanced Showroom  
健康推進部  
ディビジョンリーダー  
**小泉 和也さん**

こいずみ・かずや 2013年の会社設立時より採用を中心に幅広い業務に従事。2023年健康推進室設置時にディビジョンリーダーとして着任。「昨年、息子が少年野球を始めたことで私もコーチに。休日は野球一色です」。



株式会社LIXIL  
Advanced Showroom  
健康推進部  
**松岡 志織さん**

まつおか・しおり 2016年中途入社。人事を経て、現在は衛生管理者として健康診断やストレスチェックの実施、健康施策の企画運営を担当。「リフレッシュは愛犬との散歩。週に1回はジムにも行くようにしています」。



株式会社LIXIL  
Advanced Showroom  
産業保健師  
**相佐 香那さん**

あいさ・かな 2023年中途入社。総合病院、クリニックなどでの経験を経て、現在保健師として勤務。「趣味は運動とジョギング。最近、ゴルフにハマりました。まだまだヘタですが伸びしろがないので楽しいです」。

## 専門部署を置くことでより強力で健康を推進

全国80か所以上に展開する住宅設備メーカー LIXILのショールームの運営を行う株式会社LIXIL Advanced Showroom。以前より健康経営には取り組んでいたが、社会的な健康志向の高まりもあって従業員の健康やメンタルヘルスに関する課題が顕在化。それまで以上に多角的な対応が必要となっていた。「そこでより強力で従業員と会社の健康を推進していこうと、2023年4月に健康推進室を設置。半年後には健康推進部となって活動を継続しています」と、健康推進部 ディビジョンリーダーの小泉和也さんは話す。

活動内容は大きく3つ。①心身の不調による欠勤や休職など、顕在化して

いる課題を解消する。②健康の問題を抱えながら仕事をし、業務効率が低下しているような状態を改善する。③仕事に対してポジティブで充実した心理状態をより高めていく、だ。

たとえば健康診断や健康相談などを通じて、症状の早期発見や早期対応に努める。休職者が順調に復職できるよう支援する。また毎月、全従業員対象にコンディションサーベイを実施。健康の項目において不調が見えた人には「サポートできることはないか」と積極的にコミュニケーション。何かしらの症状を抱えながら働き続ける人のフォローアップもする。

さらに健康リテラシーの向上につながる情報提供やセミナーを実施。休職せざるを得ない状況になる前段階の施策に力を入れている。

## 気軽に相談できるよう産業保健師が常駐

目指したのは気軽に相談できる社内保健室。産業保健師の相佐香那さんが常駐し、「ご相談があれば気軽にどうぞ」と社内SNSで発信。メールや電話でも相談を受けている。「もし不調者が出た場合は、会社としてどんなことができるかを考えるために本人と面談。その上で職場の方にも対応のアドバイスを行っています」(相佐さん)。ほか、健康に関する研修を行ったり、女性の健康課題を取り上げた動画も配信。「当社は従業員の90%以上が女性なので、常日頃から女性のみなさんにいかに心地よくはたらいてもらえるかを考えています。私は、動画やセミナーの企画運営も担当していますが、

そのテーマ選びも女性の健康課題に重点を置いています」と、健康推進部の松岡志織さんは話す。

たとえば月経やPMSのセミナー。月経については学校で少し教えられて以来、学ぶ機会はほぼない。また症状の個人差が大きいと認識のずれも起きやすい。まずは男女かかわらず正しい知識を身に付けてもらって、相互理解と相互扶助につながる環境をつくっていききたいとの狙いがあった。

### 生理痛体験セミナーが好評 休憩室にはハーブティーも

月経のセミナーでは座学に加えて、EMS（電気筋肉刺激）による腹筋の収縮によって生理痛を体験できるシステムを活用。社長を含めた役員クラスと従業員の男女数人に、生理痛を体感してもらった。体験した男性従業員が「頭にわかっていたつもりだったが、自分の意に関係なくこんな痛みが襲ってくるとは！経験してみないとわからなかった」ということ。女性従業員からも「このタイミングで正しい知識が持ててよかった」との声が多く上がったという。

また、更年期セミナーも好評だった。男女かかわらず誰もが迎える更年期。どんな症状が出て、どう対処すればいいのか。「『ここで学んだことは自分だけでなく、身近な人がそうなったときにも役立ちます』と、そんな感想を聞き、やってよかったと思いました」（小泉さん）。

もう1つよかったのは、2024年1月

ショールームで生理痛体験セミナーを実施。実際のショールームでの案内を想定し、立ったり座ったりというリアルな動作を通して、生理の日の業務がどのようなものなのかをリアルに体験する



から順次、ウェルネスコーナーを全拠点に設置したこと。ここは休憩時などに利用できるホッと一息つける場所。効能が違うハーブティーが6種類用意されていて、「何を飲もうか」と考えることで、ちょっとでも自分の健康を振り返るきっかけになれば、と導入された。「在宅ではたらいっている人には自宅に送って飲んでもらえるようにしています。従業員の反応は非常によく、『生理前やむくみがひどいときに必ず飲んでいきます』といった声も届いています。ハーブティーをきっかけに『今日どのブレンドにした？』『体調悪いの？』などと従業員間のコミュニケーションも生まれており、導入してよかったです」（松岡さん）。

### 不調の前段階の相談が増え 休職者の数は減少傾向に

健康推進部ができて約2年。動画の配信頻度を上げたり、保健師が全国のショールームを回ったりと、接点を増やし続けることで少しずつ従業員からの信頼が高まっていった。「最近、相談内容が変わってきました。『ちょっ

と調子が悪いんです』というような、不調になる前段階での相談が増えてきたように感じています」（相佐さん）。

実際、新たに休職に入る人の数は少しずつ減少。コンディションサーベイのスコアも改善しつつあるようだ。

今後の健康推進部の展望について、3人は次のように話す。

「さらにマイナスをゼロにするところから一歩先に目を向けて、ウェルビーイングの実現を目指していきます」（小泉さん）

「お客さまを笑顔にするには、まず自分たちが笑顔でなくては。笑顔と健康は切り離せないものです。まずは自分自身を知る。そこから人の状態も想像していけるようになって、周囲にも目が行くようになる。そんな余裕のある状態が生まれるよう、健康リテラシーを高めてもらえるような施策を考えていきます」（松岡さん）

「今は多様性の時代です。つらい症状を我慢したり、周りに察してもらいのを待つこともない。自らよくするためにアクションしていく。そのために必要な情報や知識を私も発信し続けていきます」（相佐さん）

株式会社LIXIL  
Advanced Showroom

本社：東京都港区浜松町2-5-5 PMO浜松町7F  
設立：2013年9月20日  
代表者：代表取締役社長 鈴木 浩之

資本金：1億円  
従業員数：1387人（2024年12月現在）  
<https://www.lixil-as.jp>